



APT無線グループがITUのWTISDの50周年記念式典で表彰

一般社団法人電波産業会 研究開発本部 参与

さとう こうへい
佐藤 孝平



国際電気通信連合（ITU：International Telecommunication Union）の世界情報社会・電気通信日（WTISD：World Telecommunication & Information Society Day）の50周年記念式典が、2019年5月17日にスイス・ジュネーブのITU本部で行われ、APT無線グループは、第5世代移動通信システムの標準化活動を推進する上で最も努力した地域組織の一つとして認められ表彰された。

1. 日時：2019年5月17日 午前10時30分～午後2時
2. 場所：ITU本部のPopov Room（スイス・ジュネーブ）
3. 参加者：本式典には、加盟国の外交代表を中心に、産業界の主要メンバー、学界、国際連合の姉妹機関並びにITUの幹部、約150名が参加。

4. 主な内容

本記念式典のテーマは、「標準化格差の解消（Bridging the standardization gap）」で、世界情報社会・電気通信日の50周年を記念した授賞式とパネルディスカッションが行われた。

ITU事務総局次長のMalcolm Johnson氏（写真1）が、国際連合事務総長のAntónio Guterres氏からのお祝いメッセージを代読して式典が始まった。ITU事務総局長のHoulin Zhao氏（写真2）が、「国際標準は世界市場の技術的基盤を提供するとともに、世界をつなぐために重要な影響を与えている」とITU標準の重要性を述べるとともに、「5Gは、AIと組み合わせることにより、自動運転やスマートシティ

を含んだ新しいアプリケーションをサポートできるだろう」と5GやAIにも言及する歓迎の挨拶を行った。

パネルディスカッションでは、ITU-T研究グループ部門長のBilel Jamoussi氏をモデレータに、国際標準化で関心の高い3つの分野から下記5名の専門家がパネリストとして参加して、「包括的な標準化活動により可能になったデジタルトランスフォーメーション」をテーマに活発なディスカッションを行った（写真3）。

(1) 健康のための安全な聴取と人工知能に関するWHO-ITU標準：

- ・Soumya Swaminathan女史（世界保健機関（WHO）Chief Scientist）
- ・Bernardo Mariano氏（WHO Chief Information Officer）

(2) デジタルファイナンスと金融包摂：

- ・Pascal Clivaz氏（万国郵便連合 事務局長）

(3) スマートシティとコミュニティ並びにKPI（Key Performance Indicator）標準：

- ・Olga Algayerova女史（国際連合欧州経済委員会 事務局長）
- ・Sergio Mujica氏（国際標準化機構（ISO）事務局長）

授賞式では、以下の5つのカテゴリーで、6名の個人または団体が標準化格差を解消するために2015年～2018年の



■写真1. 国際連合事務総長のメッセージを代読する
ITU事務総局次長Malcolm Johnson氏



■写真2. ITU事務総局長のHoulin Zhao氏



写真3. パネルディスカッション風景（左端が、モデレータのBilel Jamoussi氏）



写真4. 授賞式風景

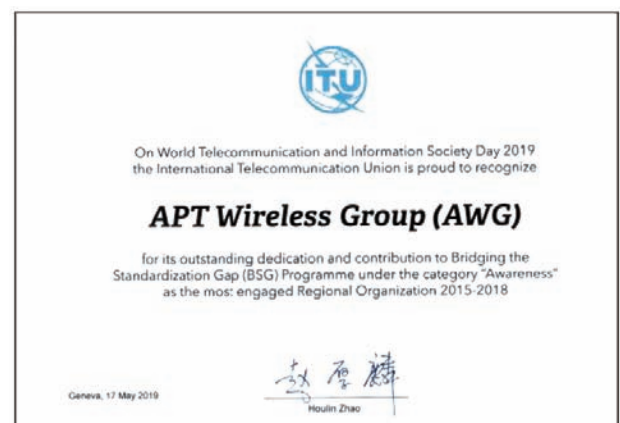


写真5. 授与されたWTISD Award

4年間に行った業績に対して、ITU事務総局長からWTISD Awardが授与された。

(1) Awareness：APT無線グループ（AWG）が、第5世代移動通信システム（ITUでの専門用語では、「IMT-2020」という）の標準化活動を推進する上で最も努力した地域組織の一つとして認められ、AWGの議長を務める一般社団法人電波産業会の佐藤孝平氏が

AWGを代表してAwardを受賞した（写真4、5）。

- (2) Know-how：ジュネーブのザンビア在外大使館の Lwando Bbuku氏は、国際標準規格開発における専門知識の向上の観点から、ITU-T SG3共同議長の活動が称賛された。
- (3) Community：チュニジアと米国の2つの加盟国は、国際標準化コミュニティを集結する数多くのITU会議を主催したことが認められた。
- (4) Engagement：中国は、最も多くの代表者をITUの標準化作業に派遣したことが称賛された。
- (5) Partnering：韓国は、ITUのBSG（Bridging the Standardization Gap）プログラムに対する優れた貢献が認められた。